

# 軟弱地盤で工期長期化



辺野古大浦湾本格着工

## 着工早々、計画に暗雲



「工期を9年3カ月 長官は会見で、工期の  
と示してきたが、本日「9年3カ月」を強調。  
の工事着手がこの起点 「普天間飛行場の1日  
に当たるものだ」  
も早い全面返還を実現  
10日前、工事着手し、基地負担軽減のた  
を発表した林芳正官房 ぬ全力で取り組む」と

### 首相「9年3カ月」強調も約束せず

砂ほこりをあげながら台船に搬入される石  
材 11日午前10時25分、名護市（喜瀬守昭  
撮影）

意気揚々と語った。  
だが事業の目的は新  
基地建設自体ではなく  
宜野湾市にある米軍普  
天間飛行場の返還だ。  
埋め立て工事や飛行  
場施設の建設、提供手  
続きが完了し、返還で  
きる環境が整うまでに  
12年かかるといのが  
政府の正式な見解だ。  
しかし、この計画は  
着手早々、暗雲が垂れ  
込んでいる。  
沖縄防衛局によると  
大浦湾側を含む辺野古  
新基地建設計画全体で  
必要となる土砂総量は  
2017万6千立方メートル  
が見込まれており、2  
023年11月末時点で  
の投入量は全体の15・  
76%にとどまる。埋め  
立て着手から5年か  
け、比較的浅瀬の辺野  
古側で埋め立てはほぼ  
終えた。一方、辺野古  
側で投入した土砂の5

倍以上の量が、大浦湾に  
投入されるが、その期  
間は8年ともくろむ。  
だが、水面下90センチ  
で達するとされる軟弱  
地盤の改良など、政府  
自身も認めるほどの  
「難工事」（19年9月、  
岩屋毅防衛相）で工期  
はさらに長期化する可  
能性がある。10日夕、記  
者団の取材に応じた玉  
城デニー知事は「今  
後も設計変更申請は  
たくさん出てくると思  
う」と語り、工事の先  
行きを困難視した。  
一方、首相官邸で記  
者団の取材に応じた岸  
田文雄首相は「9年3  
カ月以内に工事を終え  
ると県民に約束できる  
か」と問われたのに対  
し「（防衛省が作成し  
た）工程に従って工事  
を進めるべく全力で取  
り組んでいきたい」と  
述べるにとどめ、「約  
束」しなかった。（知  
念征尚、明真南斗）  
◇ ◇  
（2面に続く）

政府は10日、辺野古  
新基地建設に伴う大浦  
湾側の工事に着手し  
た。12年後の移設を目  
指すとするが「マヨネ  
ーズ状」と評される軟  
弱地盤の改良は難工事

も予想され、先行きは  
見通せない。着工の影  
響とその波紋を追う。



# 首相「一日も早く返還」

## 官房長官「負担軽減図る」

岸田文雄首相と、会見での林芳正官房長官と記者団のやりとりは次の通り。  
―地元の理解をどのよう  
に得ていくか。

首相「世界で最も危険と言われる普天間飛行場の固



記者会見する林官房長官 10日午前、首相官邸

定化は絶対に避けなければならぬ。政府としては、一日も早い全面返還に向け、努力を続けていかなければならないと考えている。これまでも地元の皆さまに対しての説明を、さまざまな機会を通じて行ってきた。これからも丁寧な説明を続けていきたい」

―9年3カ月の工期内に終えたと約束できるか。  
首相「防衛省において必要な検討を行った上で、その工程を作成したものである。この工程に従って工事を進めるべく、全力で取り組んでいきたい」

―実施設計について県と協議しているか。  
官房長官「沖縄防衛局が県と協議を行っており、引き続き適切に対応していくものと承知しているが、今般着手する大浦湾側の海上ヤードの整備は本協議の対象外と認識している」

―工事の必要性は。  
官房長官「辺野古移設が唯一の解決策という方針に基づき、着実に工事を進めていくことが、一日も早い全面返還を実現し、その危険性を除去することにつながる。地元への丁寧な説明を行いながら、基地負担軽減を図るために全力で取り組んでいく」

● 沖縄戦の戦没者遺骨に関し、厚生労働省が2003年度以降実施してきたDNA鑑定の実績  
(令和5年12月末現在)

申請者数	鑑定実施件数	内訳(※)	
		判明	否定
1,716	1,537	6	1,531

(※) 判明の数はDNA鑑定の結果、身元が特定された申請者(御遺族)及び御遺骨の数であり、否定の数は身元が特定されなかった申請者(御遺族)の数。

(年度別の内訳)

	申請者数	鑑定実施件数	内訳(※)	
			判明	否定
平成15年度 ～平成27年度	91	90	4	86
平成28年度	352	301	0	301
平成29年度	317	17	1	16
平成30年度	86	350	0	350
令和元年度	314	50	0	50
令和2年度	64	57	1	56
令和3年度	287	201	0	201
令和4年度	109	203	0	203
令和5年度	96	268	0	268
合計	1,716	1,537	6	1,531